

(別紙)

自己評価および外部評価票

「自己評価の実施状況(太枠囲み部分)」に記入をお願いします。(セル内の改行は、(Altキ-) + (Enterキ-)です。)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	(1)	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域に根ざした事業所の目標は、スタッフ全員で検討してつくり、その目標に沿った個人目標の元、取り組んでいる。	事業所の目標は、スタッフ全員でつぐられ、その目標に沿って各自の目標もあり、実践に繋げている。	ホームの目的に沿って、利用者を人として最善のケアを求めて実践されている内容は素晴らしいものがあります。目標の共有においてスタッフのみならず外へ向けてもアピールされる事を期待します。
2	(2)	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	ゆうゆう運営委員会や運営推進会議では、事業所の状況報告や地域の情報収集を行ない、地域との繋がりを持つようになっている。今年度も公民館主催の敬老会に参加した。近隣住民参加の避難訓練を実施した。	運営委員会や運営推進会議、回覧板を通じて地域の情報を掴み、敬老会、日吉神社の夏祭り、秋の獅子舞、子ども神輿等やゆうゆう祭りが定着し地域の方も気にかけてくださったり、隣組の介護者との交流等地域とのつながりの取組の進展が窺えた。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	近隣の介護生活をしている方と時々話しをし、認知症や介護について情報交換する機会を持つようになっている。		
4	(3)	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では事業所の実情を報告し、民生員さんや市の職員に助言を頂いた事は、スタッフ会議で報告し、サービスの向上に繋げている。	2か月に1回開催され、率直な意見交換が出来、有効に活用されている事が話と会議録から窺えた。	
5	(4)	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	介護保険課と包括支援センターから運営推進会議の出席があり、事業所の取り組みを伝え、依頼事や質問などにも答えて頂き、協力関係を築いている。	運営推進会議構成メンバーとして参加があり、行政からの連絡・助言、事業所からの報告・相談等連携が取られている。	
6	(5)	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	スタッフは身体拘束をしないケアの実践を行っている。玄関の施錠は、交通事故防止の為にしている。(庭へ出た時など)	理念についてはスタッフ会議での学習や日々の業務の中で確認し、身体拘束をしないケアの実践に努めている。玄関...庭先の門という場所には、安全のため施錠をしているとのことであった。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待について常に意識し、スタッフ会議などにおいて日々のケアの中で虐待が無いかが皆で確認している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	制度に関する学習を行った者もあり、必要性を理解し活用出来るよう支援している。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書・重要事項説明書を用い、十分に説明を行ない理解・納得頂いている。		
10	(6)	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議にご家族代表が参加し、意見や要望を出して頂いている。そこには市職員や民生委員が参加している。 出された意見は、スタッフ会議で報告検討し運営に反映させている。	家族会はないが、運営推進会議にご家族代表が参加し、その場を通じて意見や要望を出していただき、面会、行事への参加の時、ケアプランの確認等で意見、要望をくみ取るようにし、意見等はスタッフ会議などで検討されている。利用者アンケートや自己評価でもその事が窺える。	
11	(7)	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的な個人面談を通して、スタッフの意見や気付き等を受け止める機会を持っている。 スタッフ会議では皆の意見が遠慮なく言い易い雰囲気があり、職場環境や条件の整備に繋がっている。	定期的な個人面談やスタッフ会議のみならず、日々の中で意見や提案がしやすい職場の雰囲気があり、管理者、スタッフの面談からもその事が窺えた。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	本部管理者は事業所に頻繁に出向き、スタッフの努力や勤務状況を把握している。 定期昇給があり、意欲を持って働けるよう努めている。		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	今年度も法人負担の通信教育を受けたり研修を受ける機会を与え、個々の力量向上に努めている。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他事業所の交流会や学習会に参加し、情報を得る機会を持っている。 参加報告をスタッフ会議で報告しサービスの向上に繋げている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	新しい環境への戸惑いや本人の状態をコミュニケーションを通してよく観察し、安心して過ごせる関係づくりに努めている。		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	今までご苦労された事、今の心配事などご家族の気持ちをよくお聞きし、信頼関係作りに努めてきた。ゆうゆうが利用者も家族も安心の居場所となるよう努めている。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	今年度新しい入所者は居なかったが、サービスの導入段階では、本人と家族の意向とその時の状態をすり合わせ柔軟なサービスが出来るよう努めている。		
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	食事の洗い物や洗濯たみ等は利用者が殆どやって下さっている。漬物の作り方や戦争体験談など、教えて頂くことがたくさんある。		
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の参加する行事を行ない、事業所への来所を勧めると共に、利用者との関わりが増えるよう支援している。急な受診以外はご家族にお願いするようにしている。定期的に自宅へ外泊に出掛ける利用者もいる。		
20	(8)	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	お盆に自宅へ外泊予定だったが体調不良で行けず、しばらくしてスタッフとお墓参りに行った。近所の以前付き合ひのあった方が面会に来てくださっている。	自宅への外泊、お盆のお墓参り、隣人との面会、外食、ドライブ等で馴染みの人、場の継続を大切にしてい取り組んでいる。一方で新しい馴染みをつくる(状況に合わせた)事が求められていると現状と課題を伺った。	
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	開所から3年が経ち、利用者同士の関わりは自然なものとなっている。出来る方が出来ない方を支援したり、慰める様子が日常的にある。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	先日、入院していた利用者が亡くなった。契約が終了したが、ご家族とは、今後も事業所の通信を送るなどしてこれまでの関係性を大切にしていきたい。 以前に退所された方は、年賀状を送っている。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の希望や思いをお聞きし、介護計画に反映させるようにしている。困難な方は、日頃の生活の様子や生活暦をふまえた上で、本人本位となるよう検討している。	生活歴や家族の系図を細かく把握し個人史にまとめスタッフで共有し、ケアへ生かす取り組みがされており素晴らしいです。	ご本人やご家族等から聞き取りし個人史にまとめる作業とそれをケアに生かす取り組みはとても素晴らしいことです。具体的な事象や日々の取組をゆうゆう通信などでご家族へ届ける等共通理解の工夫を期待します。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	個人史を活用すると共に、ご家族の来所時には今までの生活の状況や様子などを伺い、ここでのケアに活かしている。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者とゆっくり過ごす時間を持つように努め、心身の状態や気付き等を情報共有ノートに記入し、皆で把握するようにしている。		
26	(10)	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画の作成や見直しの際には来所されたご家族にお話を伺い、利用者本人の希望と併せ、スタッフ会議にて検討し、実現可能な介護計画を作成している。	ご本人の意向やご家族の意見を聞き、スタッフ全員で検討しケアプランの作成、モニタリングを行っている。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	生活記録にケアの実践や結果を記し、利用者のつづやき・記録などを記録として残す事により、スタッフ間の情報の共有に努め、介護計画の見直しに活かしている。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	お預かりしたお金の中から、利用者の希望の物品や必要な生活用品をご家族の代わりに買い揃えたり、急な受診の送迎などにも柔軟に対応させて頂いている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ゆうゆう運営委員会や運営推進会議などで地域の情報を得ながら地域の中で暮らしを楽しむ事が出来るよう支援している。		
30	(11)	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所時から主治医は変わらず、利用者の理解が深まっている中で安心した医療が受けられている。専門医の受診が必要な場合は、必要に応じて受診に行くようにしている。	ご本人及びご家族の希望の元、近くの開業医と訪問看護が定期的に往診、訪問があり病院との連携を含めてしっかりした医療管理態勢が取られている。	
31		看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	定期的な訪問看護や往診では、利用者の状態や変化を的確に伝えるよう努めている。診察や相談事項は一覧表に記すようにし落ちの無いようにしている。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	10月に入って2名の入院者があった。入院は継続中だが、頻繁に病院に出向き、利用者の情報交換を行っている。		
33	(12)	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	10月からの入院者がゆうゆうへ帰ってきて、看取りの方向で準備中。ご家族と何度か面談し意思確認し、訪問看護・往診・協力病院と連携を取りながら、ゆうゆうでその人らしく過ごして頂けるよう支援していく。	重度化や終末期に向けた方針はあるが、病前のご本人の意向やご家族の意向を受け止めて、幾度となく家族面談し意思を確認、医療関係者とも連携をとってきめ細かく進めている事例の話を知った。	
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	スタッフ会議での学習会や訪問看護、往診等で緊急時の対応方法を確認している。		
35	(13)	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	以前からの課題であった、近隣住民の参加する避難火災誘導訓練の実施をした。緊急時の避難方法の確認を近隣の皆さんと一緒に出来た。	火災を想定した避難誘導訓練を隣組の方の参加を得て実施、又夜間を想定したものが昼間の時間帯で実施されている。緊急通報システムはボタンを押すと119番と登録した職員へ自動で連絡されるもので仕組みとして優れている。	課題に着実に取り組まれ進んできています。災害対策には「これで万全」はありません。日々の取組と運営推進会議等の場を通じて幅広い備えを準備される事を期待します。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	親密な関係になっているが、常に利用者である事を意識し、その人の立場・気持ちになって言葉かけや対応をするように努めている。	一人ひとりの生きてきた中での体験や経験を尊重し、教えてもらう気持ちで接し、人として大切にその方の立場・気持ちになって言葉かけや対応をするように努力されている様子が見学や接遇、聞き取りの中で窺えた。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	説得したり誘導するような支援ではなく、その方の思いに寄り添った、察する支援に心がけるようにしている。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1日の始まりに、その日の過ごし方を聞くこともあり、答えのある場合は希望に沿って過ごすようにしている。個々のペースに合わせ、時間には余裕を持って過ごして頂いている。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	たんすの整理や衣替え、日常では入浴時に衣類を選んだりしながら好みに合ったおしゃれが出来るよう支援している。床屋さんに来てもらっている。		
40	(15)	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	今年も手作り味噌を公民館にて作った。野菜の下ごしらえや茶碗洗いなど、出来る食事作りや片付けに取り組んで頂いている。	加齢や疾患の進行の中でも残された機能を引き出しながら、今年も公民館での味噌作りや外食行事の取組、日々の中では調理、食事、片付けの一連の流れを楽しみとなるよう努力されている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の摂取量や食事状態に合わせた食事を用意させて頂いている。食事はチェック表にて確認している。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	介助の必要な方は、毎食口腔の清潔に努め、支援させて頂いている。義歯は洗浄剤にて清潔を保つようにしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個々の排泄のパターンや状況を把握し、そのタイミングに合わせてトイレへお誘いする事によって、なるべく失敗が無く、気持ちよく過ごして頂けるよう支援している。	個々の排泄パターンや状況を把握し、予測しながらさりげなくサポートしているいて、軽量のパンツやバットで済むように支援されている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便のパターンや状態をチェック表や生活記録に残し、それぞれの利用者の排便状況の把握をしている。スムーズな排便の為に、十分な食事や水分摂取を勧め、必要に応じて便が出やすいような処置を行っている。		
45	(17)	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴の曜日や時間は決めていない。1週間に2～3回は入浴して頂くようにしているが、利用者の希望になるべく沿うよう努めている。	曜日や時間は決めずにご本人の希望に沿うようにしている。拒否の方ではその背景を掴む努力をする事とタイミングを見たり早めにゆとりを持って声かけしたり、暑いときには蒸しタオルでさっぱりしてもらおう等工夫して取り組まれている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの状況に応じて、昼寝などの休息をとって頂いている。居室以外でもソファなどで休息が出来る。個々に合わせた寝具の工夫も行っている。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬は夜勤者が一日分をタペストリーに準備し、飲み忘れの無いよう支援している。スタッフは利用者それぞれの疾患を理解した上で、内服の効果や副作用なども理解し、服薬後の状態の変化観察に努めている。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食事作りや後片付け・洗濯畳みなど、日常の中でそれぞれの出来る事を役割りをもってやって頂き、歌や体操、新聞や本の朗読などで楽しみのある生活を送っていただくよう支援している。		
49	(18)	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	日常的には天候の良い日に、庭に出て外の風に当たっている。計画的な外出行事を実施し、ボランティアさんや家族の協力を得て、出掛けるようにしている。お墓参りやりんご狩りなど。	日々は庭に出て体操や花を楽しんだりしているが、月1回の外出行事は体力にあわせて小分けにするなど工夫してボランティアやご家族の協力を得て実施されている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金は金庫に管理させて頂いているが、希望のあった時や買い物に行く時には所持して頂くよう支援している。		
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話をかけたい希望のある時は、希望に沿って支援している。 年賀状の返信のお手伝いなどさせて頂いている。		
52	(19)	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	室内の温度・湿度には常に留意している。 行事の写真を掲示したり、季節を感じることに出来る共用空間作りに努めている。	古民家の良さを生かして、利用者の状況にあわせて柔軟に工夫されている。玄関の手すり設置、ソファの背が手すり代わりとか、椅子の工夫、季節の花、行事や日常のスナップの大版写真、書き初め等季節や温かみを感じられるものである。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングのソファは思い思いに利用出来、気のあった利用者で集っている。 利用者一人ひとりの居場所が出来ている。		
54	(20)	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族の協力を得ながら、自宅の使い慣れた家具や使い易い家具を持ち込んで頂き、写真などを掲示し居心地の良い居室となるよう努めている。	ご家族の協力を得て個々の状況にあわせて、写真や掛け軸、ミニ筆筒、位牌等が工夫され整備されている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりの設置や利用者の状態に合わせた環境整備に努め、一人ひとりが出来ることが活かされるように常に工夫している。		